



アカアマダイ
日本海西・九州北西部
令和7年度資源評価結果

生物学的特性

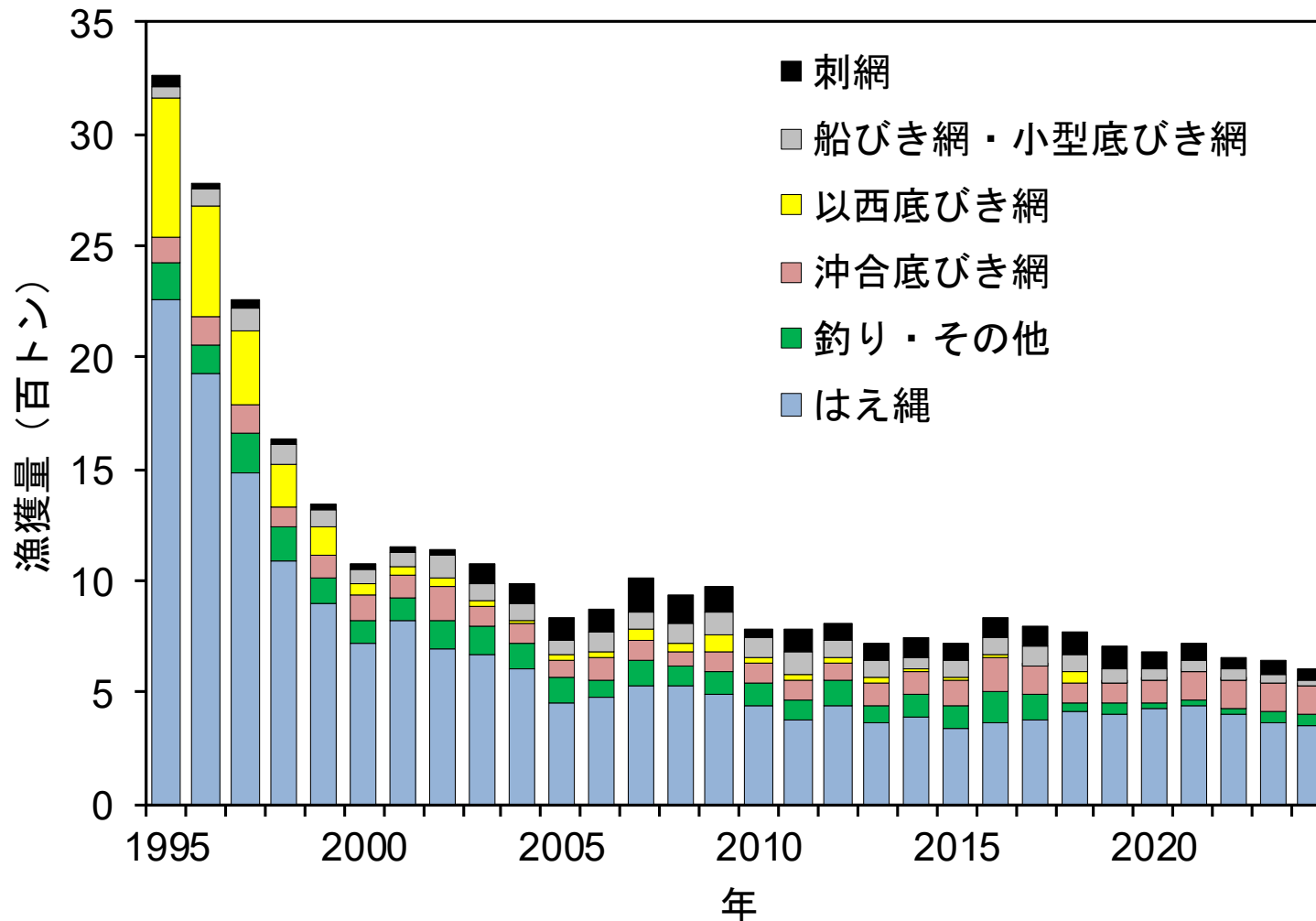


生物学的特性

- 寿命：雄11歳、雌9歳程度
- 成熟開始年齢：50%成熟全長は雌雄ともに4～5歳時に相当する
- 産卵期・産卵場：日本海南西海域で6～10月、対馬北東海域で7～11月、水深100～130mの海域
- 食性：魚類、甲殻類、多毛類、頭足類、貝類、棘皮動物
- 捕食者：底棲の大型魚類

- 日本海西部海域から東シナ海にかけて、陸棚上～陸棚縁辺域の水深80～130mの海域が主分布域

漁獲の動向①

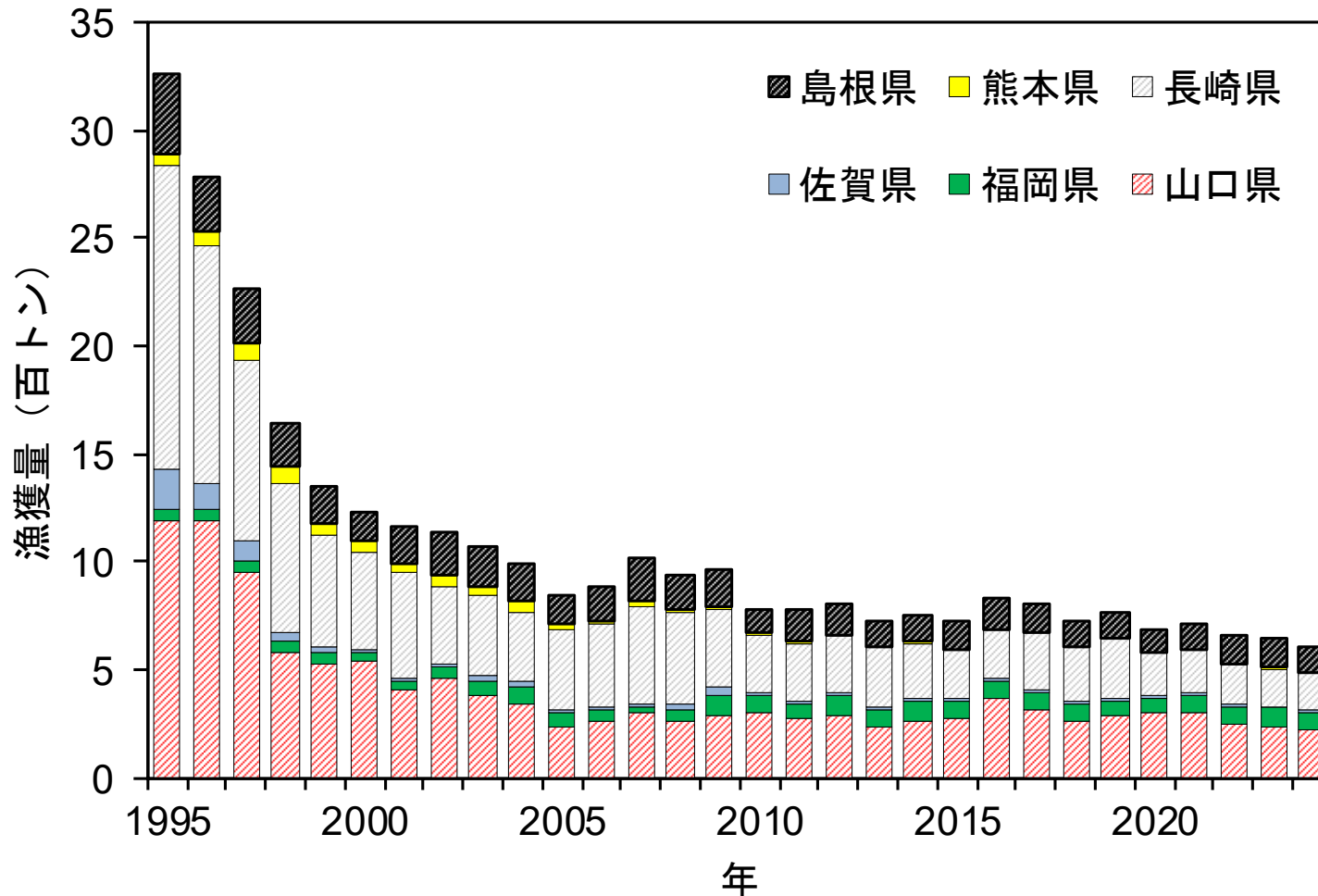


- 漁業の主体ははえ縄漁業（はえ縄）
- 1995～2000年に東シナ海陸棚域におけるはえ縄漁獲量が急減

※アカアマダイのみの漁獲量は不明のため、アマダイ類の漁獲量を示した

※資源評価対象海域外である東シナ海陸棚上～陸棚斜面域での漁獲量を含む

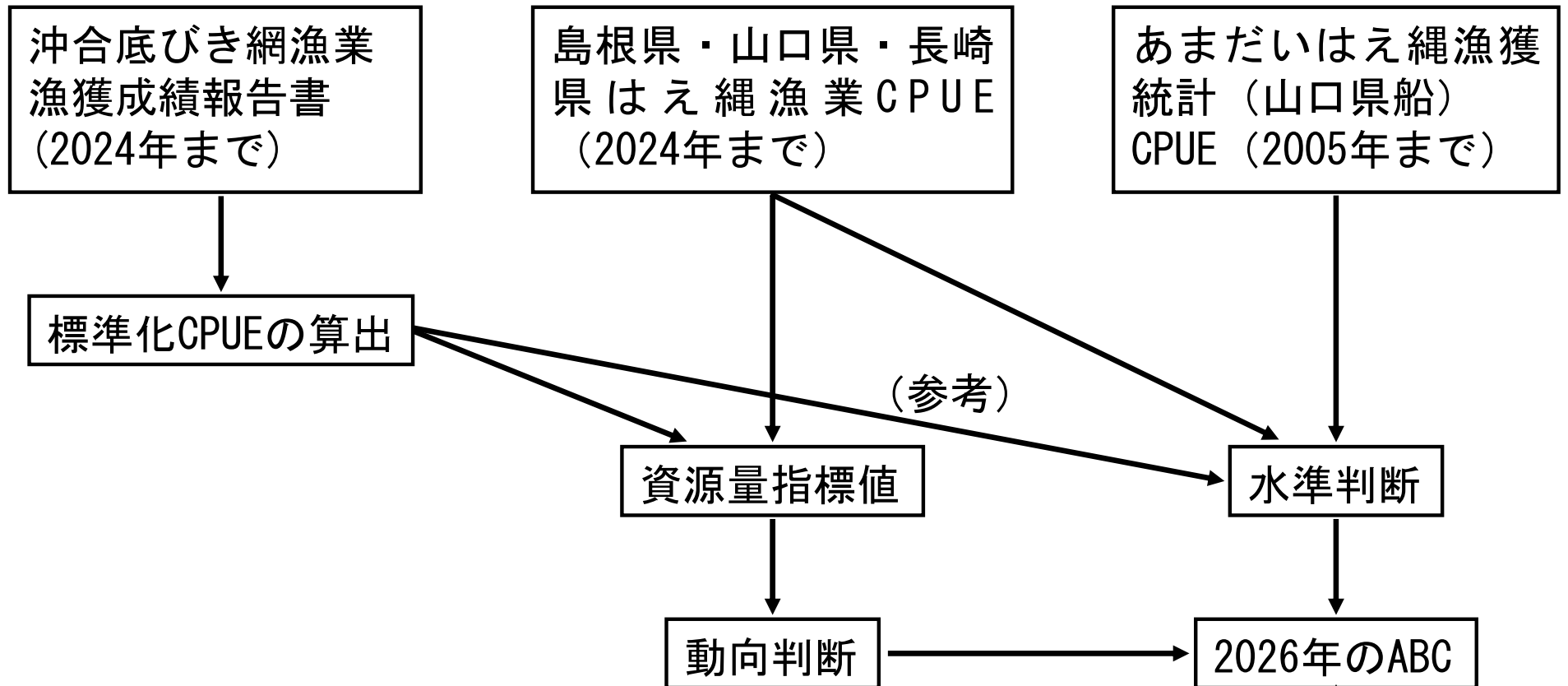
漁獲の動向②



- 1995～2000年には東シナ海陸棚域で漁業の衰退により急減
- 山口県と長崎県による漁獲が多く、島根県がそれに次ぐ

※アカアマダイのみの漁獲量は不明のため、アマダイ類の漁獲量を示した
※資源評価対象海域外である東シナ海陸棚上～陸棚斜面域での漁獲量を含む

資源評価の流れ

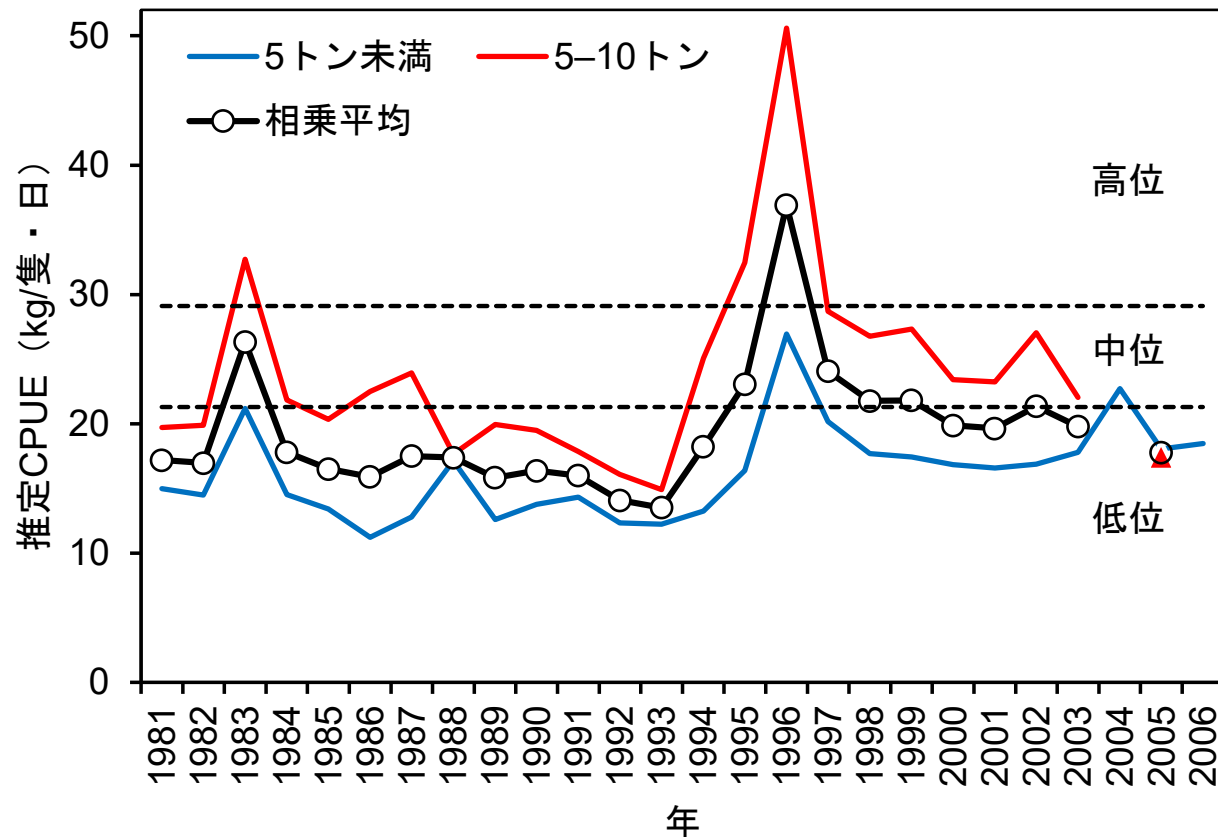


※ 各漁獲統計におけるアマダイ類の漁獲量をアカアマダイの漁獲量として取り扱った

※ ABCは漁業法改正前の考え方に基づく基本規則を適用した値

2024年までの
各県漁獲量
長崎県海区別漁獲量
東シナ海はえ縄漁業漁獲成績報告書
以西底びき網漁業漁獲成績報告書

資源の動向①

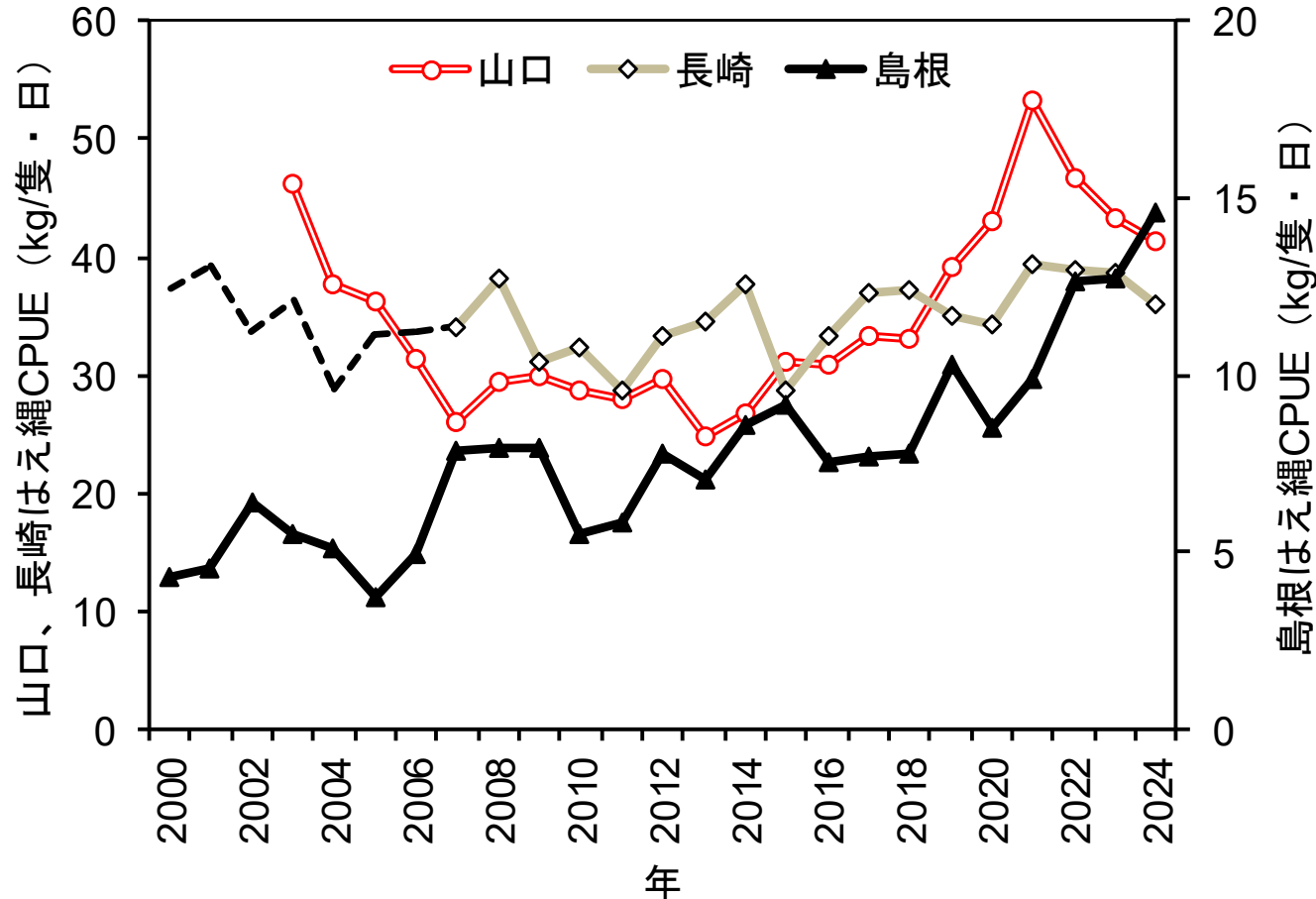


※水準区分 低位／中位：推定CPUEの相乗平均21.3、中位／高位：29.1
(推定CPUEの相乗平均の最大値36.9と最小値13.5の間を3等分して算出)

※▲：2005年の5～10トン船の推定CPUEを示す。2004、2006年の同値は欠測

- あまだいはえ縄（山口県船）のうち、同県沿岸で操業した5トン未満と5～10トン船の推定CPUEの相乗平均から2000年代前半の資源水準を判断
- 2000年代前半の資源水準は中位と低位の境界付近

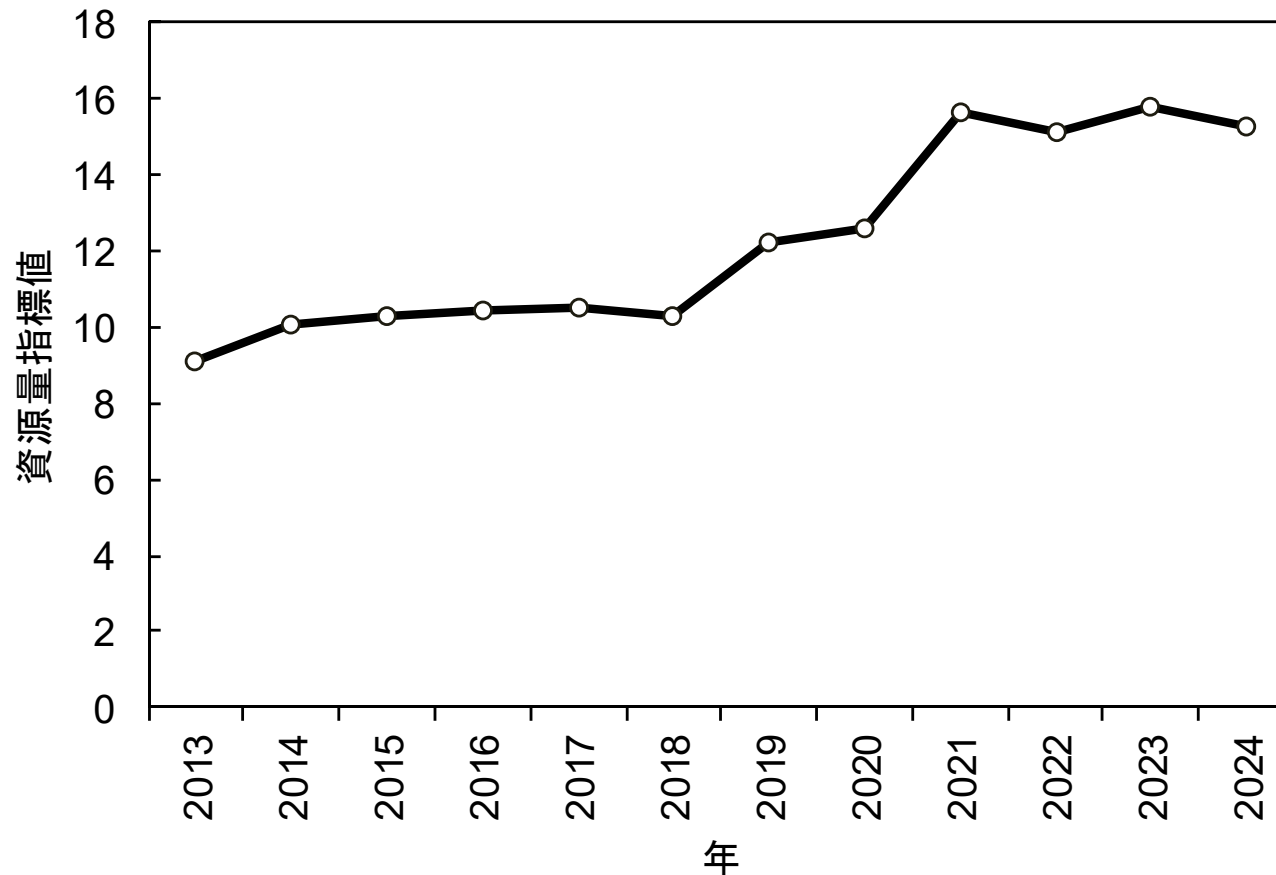
資源の動向②



※2007～2024年の長崎県CPUEは「豆豆（他魚種が混在）」銘柄を除外して算出
2006年以前は銘柄別重量が不明のため、「豆豆」を含めた参考値（黒点線）

- 島根県、山口県、長崎県のはえ縄CPUEにおいて、2000年代前半の値（低位と中位の境界付近の資源水準に対応）と2024年の値を比較し、資源水準を判断
- 2024年の各CPUEは2000年代前半と同等以上のため「中位」

資源の動向③



- 資源量指標値は沖底（2そうびき・浜田以西）の標準化CPUE、島根県、山口県、長崎県のはえ縄のCPUEから求めた
- 直近5年間（2020～2024年）の資源量指標値の推移から「増加」

※標準化CPUE：資源や操業による偏りを取り除いた、1操業当たりの漁獲量

資源評価のまとめ

- 資源水準は中位、動向は増加
- あまだいはえ縄（山口県船）および島根県、山口県、長崎県はえ縄のCPUEから資源水準を、資源量指標値の推移から資源動向を判断した

2026年ABC

管理基準	Target/ Limit	2026年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値（現状のF値 からの増減%）
0.9・Ct・1.00	Target	435	—	—
	Limit	544	—	—

- 漁業法改正前の考え方に基づく基本規則2-1)により、
 $ABC\ limit = \delta_1 \times Ct \times \gamma_1$ で計算
- δ_1 : 0.9（標準値は1.0だが水準判断の不確かさを考慮）
- Ct : 2024年の漁獲量
- γ_1 : 1.00（直近3年間（2022～2024年）の資源量指標値の平均値と傾きから算出）